

伊豆の国市立長岡南小学校 学校だより



あやめだより

令和7年1月号

「最後まで走り切る」

校長 牧野 宏之

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。

2学期は82日間と長く、大きな行事もたくさんありました。特に南っ子祭りでは、一人一人の頑張りや工夫で、全校で協力して楽しむことができました。

さて、3学期がスタートしました。令和6年度も、残すところ3か月です。学校では年度末の慌たしさから「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われます。3学期の登校日数は49日間です。

では、49日間とは、「まだ49日間ある」のか「もう49日間しかない」のか、どちらでしょうか？

まだ49日間あるから、

「もう一度、～～に挑戦しよう！」

「〇年生になる前に、～～をできるようにになりたい！」

「今の学級で楽しい思い出をもっとたくさん作りたい！」

もう49日間しかないから、

「苦しいけど、今まで頑張ってきたことを最後までやり遂げよう！」

「友達との楽しい時間を大切にしたい！」

「時間を無駄にしないで、自分の力を出し切ろう！」

このように考えると「まだ」も「もう」も変わりません。

大事なのは、『最後まで力一杯頑張る気持ち』です。

12月の持久走では、人によって走るスピードや距離は違っても、みんな最後まで自分の力を出し切って走り切りました。

残りの49日間の時間は、みんな平等に過ぎていきます。一人ひとり、頑張る内容や頑張り方は違っても、最後まで力一杯走り抜けることが大切です。3月の卒業式・修了式までみんなで励まし合って頑張り、胸を張ってゴールできるように、そして自信を持って次のスタートラインに立てるように過ごしましょう。

子供たちへのご支援をお願いいたします。

